

2026 地域デザイン研究科芸術デザインコース

英語 出題意図

国際社会における東アジアの社会や文化の歴史について述べた英文に関する問題である。内容の面では、高校～大学学部教育の世界史レベルの概説、及び概論的な研究エッセイを取り上げている。社会・歴史・芸術の立場から地域創造を担う人材を育成する大学院において、東アジアや日本の歴史・文化に関する国際的な視野を備えていることは重要であり、それを考慮した出題である。

英文に関しては、基礎的な単語と文法で構成されており、辞書を使って翻訳し、大学英語レベルの基礎力を把握することが狙いである。

問題 1

中・近世の東中国海・南中国海域における、境界や法的制約を超えた人々の越境的活動について述べた英文を日本語訳する問いである。

□模範解答（以下の 6 センテンスの区切りで各 10 点。計 60 点）

- 1 しかし、こうした地理的・政治的な障害にもかかわらず、宋代には海上交易が大いに繁栄し、その取引量は以前の時代のシルクロード交易をはるかに上回った。
- 2 実際、宋代の銭貨は東アジアおよび東南アジアの広い地域で大量に発見されている。
- 3 東南沿岸の泉州周辺の陶磁窯業のように、ほとんど輸出市場専用生産を行う産業すら生まれた。
- 4 国家がこの急成長する交易を抑え込もうとした試みは、むしろ「海賊」や「反乱者」と呼ばれた国際的なネットワークに、この制限を掻い潜る動きを促す結果となった。
- 5 海上交易は中国人ディアスポラを活性化させ、紀元後第 2 千年の過程でその重要性は一層増大し、中国商人たちは東南アジアや東北アジア各地にコミュニティを築きつつ、中国本土に住む親族との社会的な結びつきを維持したのである。
- 6 したがって、国家の政策や行政的地理が中国社会の空間的な組織を形づくるのに寄与したことは疑いないものの、商業活動は中国の社会的・経済的ネットワークの地理的範囲を帝国の境界をはるかに超えて拡大させたのである。

問題 2

国際的なコンテキストにおいて日本文化の特質を理解する考え方とその重要性について述べた英文を翻訳し、文意が理解できるかを試験する。

□模範解答

（設問 1）（以下の 4 センテンスの区切りで各 5 点。計 20 点）

下線部 (1) ある国を真に理解するためには、その国の自然環境、そして歴史的・社会的変遷について根本的なレベルでの理解を求めなければならない。

下線部 (2) しかし今や明らかなのは、すべての文化が、直接的または間接的に隣接する文化と、あるいはより広い意味では世界文化と、相互関係を有しているということである。

下線部 (3) まず求められるのは、日本とその隣接諸国との関係、そして自然界という構造の中における日本文化の客観的特質を理解するための意識の転換である。

下線部 (4) 私たちは、日本という国を理解するという観点から日本文化を検討し、それを中国や韓国と比較し、東アジアの中で理解し、さらに世界文化として理解すべきである。

(設問2)

出題した英文の主旨を理解したうえで、現在及び大学院進学後に取り組む研究のテーマ・内容について、自分自身が世界的あるいは東アジア的な視野・意識をどのようにもっているかを短文で表現することを求める問いである。

なお、各自の考えであるため、正解を問うものではない。自身の考えを端的に言語化できているか、視野・考え方が明確であるかを採点対象とする。(20点)

□解答例

日本人研究者がおこなう魏晋南北朝考古学の研究としては、日本が東アジア文化圏の周縁に位置しつつも、古代以来その動向を受容・変容して独自の文化を形成してきた特質を踏まえる必要がある。中心と周縁の二項対立を超え、多様な地域間の相互作用や再編の視点から文化を捉える姿勢が重要である。日本からの研究は、東アジア全域を俯瞰しつつも地域間の差異や独自性を尊重する立場を示すことで、国際的にも独自の意義をもたらすことができると考えている。(211字)